

【ハウスブドウ】

1) 現状

(1) 生育適応性

- 発芽から新梢伸長期(4月中旬～5月上旬)に晩霜の被害を受けないところ。
- 排水が良好で、地下水位が高くないところ。
- 風当たりの少ない地形を選ぶ。
- 作業性を考えると、平坦地もしくは緩傾斜地を選ぶ。

年平均 気温	4～10月の 平均気温	土壌条件	降水量	晩霜	休眠要件
12℃ 以上	16℃以上	排水良好 な植壤土	1600mm 以下	要注意	800～1200 時間

(2) 現在の主要作型

ピオーネ（早期加温栽培 2月中旬加温開始）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
旬	上中下									
作 型		△	○	○			■			

△加温開始、○開花期、収穫期 ■

(3) 加温時期と重油等の消費量

作型	加温期間	必要重油量
1月20日加温開始	加温開始日 1月20日～4月	約8 k l
2月10日加温開始	加温開始日 2月10日～4月	約5 k l

※必要重油量は高瀬支店ブドウ部会での聞き取り調査

(4) 経営費等に占める重油費の割合(重油単価80円/lの場合)

ハウスブドウ：施設：普通加温（2月中下旬加温タイプ）

経営費目	金額(円)	備 考
変動費（種苗費・光熱費等）	981,600	光熱費のうち 重油費：320,000円
固定費（減価償却費等）	10,000	
経営費合計	991,600	経営費のうち 重油費割合：32.3%

施設償却は終了しているため見込んでいない。

(5) 重油高騰の収益への影響

上記(4)の経営費において、光熱費及び諸材料費が重油と同様に上昇することを想定して試算。

普通加温タイプ

重油単価 (円/ℓ)	重油費 (円/10a)	経費全体 (円/10a)	収 益 (円/10a)
50	250,000	921,600	428,400
60	300,000	971,600	378,400
70	350,000	1,021,600	328,400
80	400,000	1,071,600	278,400
90	450,000	1,121,600	228,400
100	500,000	1,171,600	178,400
110	550,000	1,221,600	128,400
120	600,000	1,271,600	78,400

2) 対策

(1) 施設の改善

加温機の点検整備や施設の内張り等の多層被覆については、共通技術を参照する。

(2) 適正な温度管理

県栽培指導指針に記載された温度管理を参考に、極端な昇温を行わない。

(3) 栽培上の改善

- ・被覆フィルムは保温性の高い資材を選択する。
- ・加温初期の地温の上昇を促進するため、地面への日当たりをよくする。
- ・加温～発芽の期間の短縮のため、加温までの伏せこみ期間を十分に取る。また遅い作型でも、発芽促進剤を使用する。
- ・出荷が遅れないよう、適正な着果量（着房数、房重量）を遵守する。